

経済指標ウォッチャー

法人企業統計調査12月 設備投資は2四半期連続のプラス

オミクロン株の感染状況次第では経常利益・設備投資が低迷する可能性も

法人企業統計調査とは？

財務省が金融・保険業を除く営利企業の財務状況について調査した統計。全企業を資本金額や業種別に分類し、売上高や経常利益、設備投資などの財務諸表の項目が集計されていることから、国内の企業活動の実態を概ね把握することができる。なお、資本金1,000万円以上の企業を対象として四半期ごとに実施される『四半期別調査』は、3月、6月、9月、12月の初旬に公表される。

設備投資は小幅に増加

12月1日に財務省が発表した2021年7～9月期の法人企業統計調査によると、全産業（資本金1千万円以上、金融業、保険業を除く）の設備投資は前年同期比1.2%増の10兆9,276億円となり、2四半期連続前年同期比でプラスとなりました。業種別の内訳では製造業が同0.9%増、非製造業が同1.4%増といずれもプラスとなりました（図表1）。製造業では金属製品やはん用機械の設備投資額の増加が目立ちました。非製造業では4～6月期に続き、飲食・宿泊等のサービス業が、新型コロナウイルスの影響等を受け設備投資を控えていた反動を一因に大きく改善したとみられます。

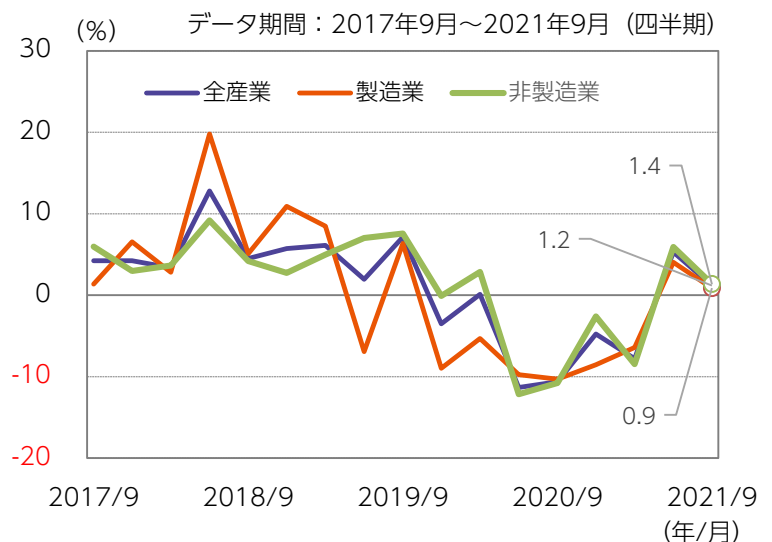
経常利益は大幅な改善が続く

全産業の経常利益は前年同期比35.1%増となり、3四半期連続で大幅な増益となりました。業種別の内訳では製造業が同71.0%増、非製造業が同17.0%増と大幅なプラスとなりました（図表2）。

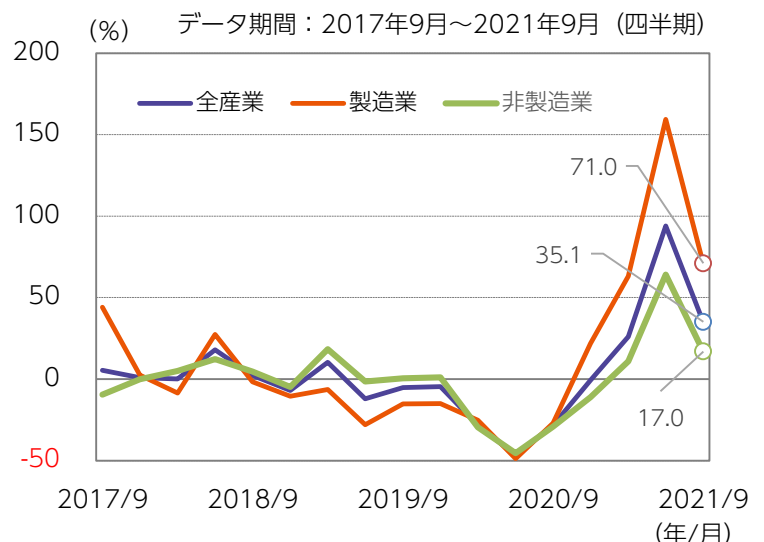
2020年7～9月期は新型コロナウイルス感染拡大をめぐる先行き不透明感などにより経済活動が大きく停滞し、経常利益が大幅に減少しました。2021年7～9月期は緊急事態宣言が発令されていたため、増加率は4～6月期より減少したものの、1年前に大きく減少した反動もあり、前年同期比で改善が進んだものと思われます。

足元では米国がけん引する形で世界経済は回復傾向にあります。世界経済の回復が続けば、日本でも設備投資や経常利益の改善が継続するものとみられます。一方、新型コロナウイルスの変異株であるオミクロン株による感染が拡大し、再び世界的に経済活動を制限する措置が採られる場合には、経常利益や設備投資が再び低迷することも考えられます。

図表1：設備投資(前年同期比増減率)の推移



図表2：経常利益(前年同期比増減率)の推移



出所) 図表1、2は財務省「法人企業統計調査」をもとにニッセイアセットマネジメントが作成

【当資料に関する留意点】

- 当資料は、市場環境に関する情報の提供を目的として、ニッセイアセットマネジメントが作成したものであり、特定の有価証券等の勧誘を目的とするものではありません。また、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。実際の投資等に係る最終的な決定はご自身で判断してください。
- 当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 当資料のいかなる内容も将来の市場環境等を保証するものではありません。
- 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料に投資信託のグラフ・数値等が記載される場合、それらはあくまでも過去の実績またはシミュレーションであり、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。
- 投資信託は投資する有価証券の価格の変動等により損失を生じるおそれがあります。
- 投資信託の手数料や報酬等の種類ごとの金額及びその合計額については、具体的な商品を勧誘するものではないので、表示することができません。

<設定・運用>



ニッセイアセットマネジメント株式会社

商号等：ニッセイアセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者

関東財務局長（金商）第369号

加入協会：一般社団法人投資信託協会

一般社団法人日本投資顧問業協会

ニッセイアセットマネジメント株式会社

コールセンター 0120-762-506（受付時間：営業日の午前9時～午後5時）

ホームページ <https://www.nam.co.jp/>